



人称不定形

人称不定形

不定形は、動詞の語幹に接尾辞 **-ni** をつけてつくります。この不定形に、人称接尾辞がついた形があります。これを人称不定形と呼びます。

人称不定形は、不定形から **-i** をとりのぞいた形に、次の所有人称接尾辞をつけてつくります。ただし、3人称ではそのまま **-i** のついた形に、人称接尾辞 **-a, -e** および **-uk, -ük** をつけます。

		後舌母音語 vár 待つ	前舌母音語 kér 頼む	円唇前舌母音語 üln 座っている
单	1	várn-om	kérn-em	üln-öm
	2	várn-od	kérn-ed	üln-öd
	3	várn-i-a	kérn-i-e	üln-i-e
複	1	várn-unk	kérn-ünk	üln-ünk
	2	várn-otok	kérn-etek	üln-ötök
	3	várn-i-uk	kérn-i-ük	üln-i-ük

人称不定形の用法

人称不定形は、動詞 **kell** (必要である)「～しなければならない」や形容詞 **szabad** (自由な、空いている)「～してよい」などとともに使われて、動作の主体を表わすことができます。ふつうの不定形とともに用いられた場合は、動作の主体は「不定の人」になります。

Tanulnom kell. 私は勉強しなくてはならない。

Tanulni kell. (人は一般的に) 勉強しなくてはならない。

動作の主体は与格接尾辞でも表わすことができます。

Lacinak tanulnia kell. ラツイは勉強しなくてはならない。

接頭辞があるとき、中立文の語順は 接頭辞 + 動詞 + 不定形 の順になります。

El kell mennem. 私は行かなくてはならない。

Meg szabad néznom? 見てもいいですか？